

(既設現場打ち横断側溝の上部再生工法)



こんなことができます!

コンクリート蓋の掛かったままの横断側溝、グレーチングのがたつく横断側溝を低コスト短期間で再生します。

【従来の問題点】

側溝の横断部には他の部分より多くのコンクリートが使われ、取り壊すには大きな重機が必要であり、また廃材もたくさん発生します。道路の横断部であり通行止めも必ず必要となります。

【解決したポイント】

既設の側溝の下部はそのままに、損傷した上部だけをカット・除去しグレーチングで再生します。側溝上部15cm位しか壊さないで重機は必要ありません。廃材の発生も最小限で済みます。

技術の概要

今では道路の横断側溝はコンクリート二次製品で構築されますが、以前は現場打ちの側溝が主でコンクリートの蓋が掛けられていました。そんな側溝の下部はそのままに上部だけを新設同様に再生します。

図・写真

施行前



施行後



発明者からのメッセージ

道路維持を担当される発注者の方には是非見て頂きたい製品と工法です。詳しくは「かたんグレーチング」で検索して下さい。

ライセンス情報

- 1) 開放特許情報DB番号/L2025000816
- 2) 特許番号/特許第5547843号
- 3) 公開番号/特開2015-094183
- 4) 出願番号/特願2013-235554
- 5) 出願日/2013.11.14
- 6) 発明の名称/「溝蓋用受枠及びその溝蓋用受枠の敷設方法」
- 7) 特許権者/株式会社ニッコン、他2名
- 8) 代表発明者/佐々木 孝
- 9) 実施権許諾・譲渡種別 許諾 譲渡
- 10) 共同開発・研究の意思 有 無
- 11) サンプル提供の予定 有 無
- 12) 技術指導の意思 有 無
- 13) 実施実績 有 試作 実験 無
- 14) 事業化実績 有 無
- 15) 実施権許諾実績 有 無

連絡先

- 1) 所属/公益財団法人鳥取県産業振興機構
- 2) 担当者名/経営支援部 知的所有権センター 特許流通担当
- 3) 電話番号/0857-52-6722
- 4) E-mail/chizai@toriton.or.jp